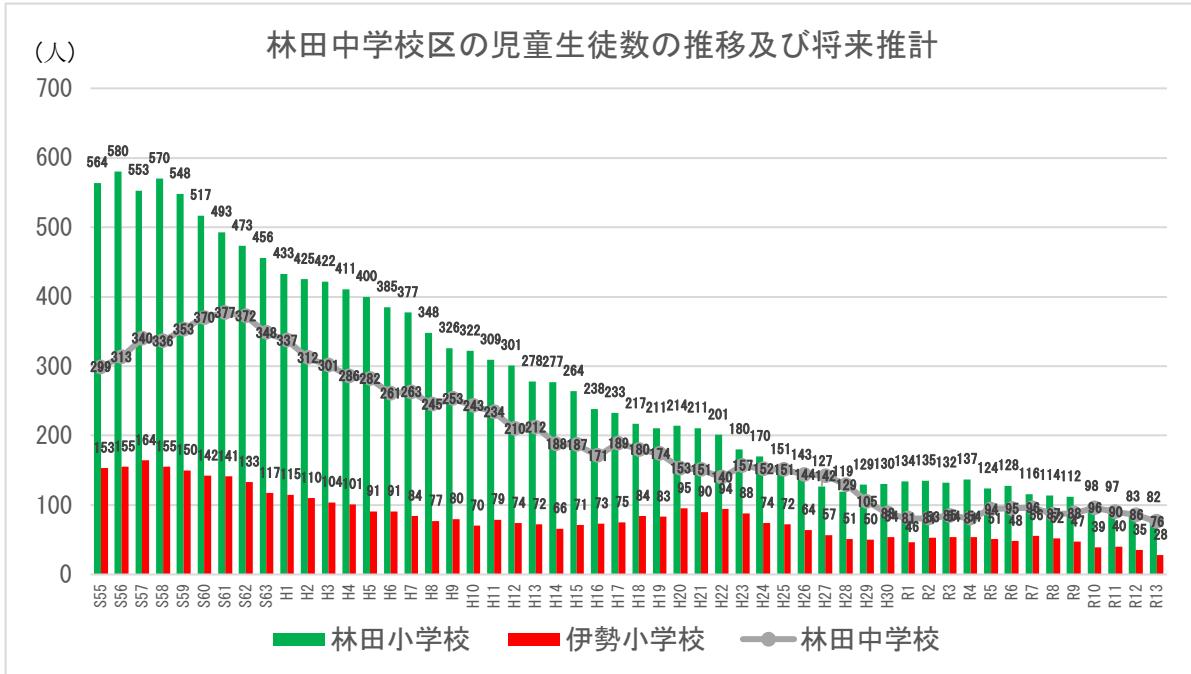


林田中学校区における児童生徒数の減少に対する取組方策について

1 林田中学校区の児童生徒数の推移



※各年5月1日現在。R8年以降は住民基本台帳登載人口に基づく推計。

2 学校地域協議会

近年の少子化に伴い、市全体で児童生徒数が減少する中、令和2年2月に策定した「姫路市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」に基づき、緊急性が高いと考えられる林田中学校区において、児童生徒にとってより良い教育環境にしていくための取組方策について協議するため、学校地域協議会（以下、「協議会」という。）を設置した。

林田中学校区においては、令和4年6月に協議会を設置し、全12回の協議会及び全6回の保護者のみの委員による分科会の開催に加え、保護者説明会や保護者アンケート調査を実施しながら協議を進めてきたが、協議会としての結論が出ず、取組方策の決定については教育委員会に委ねることとする協議結果報告書が令和6年11月に提出された。

3 取組方策

中学校を隣接校区の中学校と統合することから検討を始めたが、保護者アンケートでは、通学距離が遠距離となるなど、校区が広くなることで生徒や保護者にとって負担が大きくなることを懸念する意見もあり、隣接中学校との統合よりも義務教育学校を望む回答が多くかった。

また、協議会や分科会においても義務教育学校を設置することへの賛意が多数であった。これらのアンケート結果や協議会での意見を踏まえ、林田小学校、伊勢小学校及び林田中学校を統合し、義務教育学校とする。

なお、義務教育学校を設置する校地については、面積、立地、特別教室の配置等を考慮し、林田中学校とする。

4 義務教育学校の開校時期

令和12年4月1日（予定）